

JFA第30回全日本U-12フットサル選手権大会千歳地区予選 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競いフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な身の発育・発達を図ることを目的とする。
 2. 名 称 JFA第30回全日本U-12フットサル大会千歳地区予選大会
 3. 主 催 千歳地区サッカー協会、恵庭サッカー協会、千歳地区フットサル連盟
 4. 主 管 恵庭サッカー協会、千歳地区サッカー協会4種委員会
 5. 競技担当 千歳地区サッカー協会4種委員会
 6. 期 日 令和2年2月22日(土)、2月23日(日)
 7. 会 場 恵庭市総合体育館メインアリーナ
 8. 参加資格 (1)フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。ただし、複数チームで参加する場合は参加チーム内の登録選手に5年生が5名以上いることを条件とする。
 - ② 前項のチームに所属する2008年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。(2)サッカーチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。ただし、複数チームで参加する場合は参加チーム内の登録選手に5年生が7名以上いることを条件とする。
 - ② 前項のチームに所属する2008年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。(3) 同一の選手および役員が、本大会において複数のチームで参加できない。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
(4) 参加選手は予選から全道大会に至るまで、移籍後に再び同一大会に出場することはできない。(ただし、家族全員の転出証明写しを提出した場合はその限りではない。)
(5) 連続の試合に耐えうる健康体であること。
(6) 本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000円 地区連盟登録料 1,000円 計3,000円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000円 地区連盟登録料 1,000円 計5,000円大会参加申込時に登録受付完了と認める。
7. 競技方法 (1) 予選についてはリーグ制とし、各グループ1位および2位が決勝トーナメントへ進出する。
(2) 決勝ラウンドの上位4チームが道央ブロック大会に進出するが、決勝戦及び第3位(準決勝敗退)チームによる代表順位決定戦を行う。
(3) 決勝ラウンドで勝敗が決定しない時は、PK方式(1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により勝敗を決定する。ただし、道央ブロック大会への地区代表決定戦(決勝トーナメント1回戦)においては、6分間(前後半各3分間)の延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
(4) 一次ラウンドにおける棄権試合(不正が確認された場合も含む)は、0対5とする。
(5) 一ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム間の対戦成績
 - ② 当該チーム間の得失点差
 - ③ 当該チーム間の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (a) 警告1回 1ポイント
 - (b) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (c) 退場1回 3ポイント
 - (d) 警告1回に続く退場1回 4ポイント
 - ⑦ PK方式(1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。
8. 競技規定 本年度(公財)日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
 - (1) ピッチサイズは原則32m×16mを基本とし、センターサークル半径2.5m、ペナルティエリア四分円の半径5m、ペナルティマーク5m、第2ペナルティマーク8m、交代ゾーンの長さ4m、タイムキーパーの机の前のエリアはハーフラインの両端からそれぞれ1mとする。
 - (2) 使用球は、フットサル3号球とする。
 - (3) 交代要員の数は、10名以内とする。
 - (4) ベンチに入ることのできる人数は、地区予選に限り20名以内(交代要員15名以内、役員5名以内)とする。
 - (5) ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数は2名以内とする。
 - (6) 競技者のシューズは、キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

- (7) 試合時間
 ① 1次ラウンド: 16分間(前後半各8分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間(前半終了から後半開始まで)とする。
 ② 代表決定ラウンド: 20分間(前後半各10分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(前半終了から後半開始まで)とする。
 ③ 準決勝、決勝: 16分間(前後半各8分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間(前半終了から後半開始まで)とする。
- (8) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
 ① 1次ラウンド: 引分け
 ② 決勝ラウンド(代表決定戦を除く): PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 ③ 代表決定戦: 6分間(前後半各6分間)のプレーイングタイムの延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
 ・延長戦に入る前のインターバルは5分間とする。
 ・PK方式に入る前のインターバルは1分間とする
- (9) タイムアウトは、代表決定戦のみ適用する。
9. 懲 罰 (1) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、地区予選終了時点で警告の累積が1回のとときに、警告の累積は消滅する。
 (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、JFA第30回全日本U-12フットサル大会道央ブロック大会出場チームはこの大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。
10. 参加申込 (1) 参加申し込みに登録する人数は、役員4名、選手15名以内とする。
 (2) 参加申し込みは、令和2年1月27日(月)までに千歳地区4種委員長へEメール(cfa_4syu@soccer.nifty.jp)
 (3) 参加料 1チーム 17,000円(登録費 5,000円含む)
 ただし同一加盟団体が2チーム参加の場合は11,000円(登録費5,000円を含む)を追加する。
 (4) 申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則認めない。ただし、インフルエンザ等による出場停止が避けられない状況が生じた認められた場合に限り、選手の変更を令和2年2月21日(金)必着で受け付け
 (5) 審判2名以上の帯同を義務付ける。(最低1名は3級資格以上の保有者であること)
 (6) 参加料は監督会議で受け付ける。
11. ユニフォーム (1) (公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守し、正副2着携帯すること。
 (2) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショート、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 (3) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 (4) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 (5) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを使用すること。
 (6) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
12. 帯同審判 競技委員 (1) 参加チームは、公認フットサル審判員(3級以上の資格者1名以上を含む2名以上)を必ず帯同させること。
 (2) 帯同審判員は、大会期間中、審判業務に当たらせるものとし、審判業務を優先しなければならない。
 (3) 参加チームは、競技委員(オフィシャル1名、得点係1名)を差出すものとする。
13. 傷害補償 主催者は傷害補償は一切しない。参加各チームに傷害保険加入を義務づける。
14. 組合せ 組合せは、監督会議において抽選決定する。
15. 監督会議 令和2年1月31日(金)19:00 千歳地区サッカー協会事務所において行う。
16. 開会式 行わない
17. 表彰及び閉会式 優勝、準優勝、第3位チームを表彰する。また、全チーム1名に優秀選手賞を授与する。表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に行う。準決勝に進出したチームの選手・指導者は出席すること。
18. 連絡先 千歳地区サッカー協会第4種委員長 門田秀昭 宛
 TEL 090-7057-0659 e-mail cfa_4syu@soccer.nifty.jp
19. その他 (1) マッチコーディネーションミーティング
 ①各試合競技開始時間の30分前に、本部入り口前ロビーで行う。
 ②マッチコーディネーションミーティングは、両チームの監督及び審判員出席のもの以下について行う。
 ③FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するピブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のピブスの用意があるのが望ましい。)を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。
 ④タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行なう。

- (2) メンバー提出用紙
メンバー提出用紙は、各試合30分前(マッチコーディネーションミーティング後)担当する試合の主審に提出すること。
- (3) 選手証
各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を、監督会議及び試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンやPC等の画面に表示したものは原則として認めない。
- (4) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止することがある。
- (5) 交代要員は、交代の直前を除き、ユニホームの色と異なるビブスを着用すること。
- (6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (8) 大会に関する細部は、監督会議において調整する。
- (9) 優勝、準優勝、第3位(2チーム)には、令和2年3月7日(土)～3月8日(日)に砂川市で開催されるJFA第30回全日本U-12フットサル選手権大会北海道予選道央ブロック大会への出場を義務づける。

以上